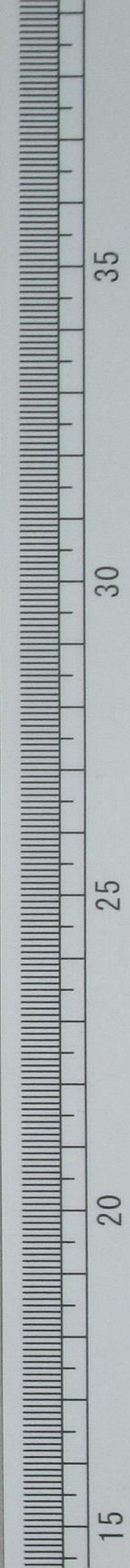




智氏家訓

中

柳田文庫
文庫11
A1478
2



文庫11
A1498
2

柳田泉文庫

飯塚
氏記

同

智氏家訓卷之二



英國

チェストルフ井ールト

原著

駿河

永峰秀樹

譯述

儉約

愚夫ノ金ハ活用ナク智士ノ金ヲ用フルヤ仁慈ノ業ニ非サレハ必ラス
名利ニ於テシ不要ノ事無益ノ物ニ一文ノ錢モ
費サス一寸ノ^{ヒカゲ}晷モ空クセス然ルニ愚夫ヲ見ル
ニ不要無益ニ惜マズ却ツテ必要有益ニ吝^{ドクガ}モ

物肆頭ヤリミセヲ直過スドリスル能ハス因袋時規杖頭ハ破身
傾産ノ郷導トナリ僕婢門商ハ其好ム處ニ投シ
テ玩物ヲ勸メ込ミ未夕數年ヲ經サルニ身ハ山
ノ如ク積ミタル玩器ノ中ニ在ツテ家ニ斗升ノ
粟ナク釜中塵堆キノ有様トナルモノ世間ニ尠スクナ
カラス
敬ヤハシ縱ナレハ父祖巨万ノ富ヲ継キタル者モ忽チ
日用品ニ事ヲ欠キ用意善ナレハ雇夫モ饑寒ニ
苦しマス物ヲ買ハ、直チニ其代ヲ償フヘシ懸
買スヘカラス又奴婢ヲシテ償ハシムヘカラス

奴婢ニ還償ハラハシムレハイハユル所謂ボウサキ棒先割前ノ恐レアリ
其割前ハ自然アキヒト我カ買フタル物品上ニ掛ラサル
ヲ得ス商買決シテ割前ヲ己カ利益ノ中ヨリ出
サ、ルナリ
懸買セテ叶ハサル品物ハ毎月必ラス自身ニ拂
フヘシ又價ノ廉キトテ不用ノ物ヲ買フヘカラ
ス又夕虚勞ホウノ心ヨリ人ニ驕ラント高價ノ物ヲ
買フヘカラス又出入ノ概畧ヲ記セヨ自然方外
ノ事ヲ為サ、ルモノナリトハイへ遊戯ニ費マ
シタル圓錢ヲ細記スルニ及ハス惟用財ニ紀律

アリテ入金ヲ量リテ諸事諸物ニ適宜ノ目算ヲ
立ツルノミニシテ可ナリ

親昵

少年ノ親昵スルヤ大率前後無分別ニオホムチ心投意合
シテ包ム所ナキノ弊アリ故ニ之ニ衆シテ猾者
ハ信友ノ假面ヲ被リ来ツテ年少未熟ノ輩ヲシ
テ身ノ禍福利害ニ関スルヲ差別ナク語ラシ
メ以テ身ヲ利シ害ヲ年少ニ被ラシムル者アリ
自ラ親友ト称スル親友ニ心ヲ許サス禮義ヲ以
テ程ヨク交ハルヘシ交ハリテ未タ久シカラサ

ル友ヲ親友ト思フヘカラス况ンヤ一見ノ友ニ
於テラヤ其親ミ日ニ厚ク久フシテ變ラサル者
若シクハ未タ見サルニ相互ニ其道德ヲ欽慕ス
ルノ母木ニ接タル朋友ニ於テ初メテ之ヲ稱シ
テ親友ト云フヘシ此ノ如キシテ結ヒタル交ハ
リハ其枝葉終ヒニ能ク繁茂スヘシ否ラサレハ
其交誼ノ枯瘦立ツテ待ツヘキノミ
面朋口友ナルモノアリ此友必ラス久シキヲ保
ツ能ハス面朋口友ナルモノハ利アレハ則チ把
袂連袂吐心露肝不利ナレハ則チ胡越ノ如ク或

ハ持^レ戈執^レ戟ノ恐^レアリ此ノ如キ害アリテ益ナ
キ朋友ハ偶^フ然^ト邂逅^テ飲^ク酒啖^ク肉ノ際ニ成^リ實^ニ面
白^キ友ニシテ惡^ク事ヲ企^ツレハ金ヲ以^テ相助^ケ
人ト争^鬪スレハ其攻^禦ヲ相助^ケ真^ニ左右ノ手
ノ如^シ然^ルニ一旦^ニ事故^{アリ}離^散スレハ相互^ニ
毀^謔嘲笑^シテ舊^日一^點ノ交^情ヲ存^スルナキナ
リ
尋^常ノ談^話ヲ殊^更ニ誓^フテ其^實ヲ唱^ヘ其^虛ナ
ラサ^ルヲ辨^論スルモノハ必^ラス汝^等ヲ欺^ヒテ
利^スル處^{アラ}ントスルモノナ^リ

仲間ト朋友トノ區別^{アル}ヘシ甚^タ懇^切甘^言ナ
ル仲間ニシテ甚^タ恐^ルヘキ朋友アリユハ真^ノ
朋友ト謂^フヘカラス世人^ヲ論^スル大^率其^朋
友ヲ以^テス西^班牙^ノ國^談ニ請^フ君^吾ニ告^ルニ
汝^ノ友ヲ以^テセヨ吾^レ乃^チ汝^ノ何^人タルヲ汝
ニ語^ラント實^ニ金^言ト云^フヘシ世^ニ惡^棍愚^夫
ト遊^フノ善^士ナシモシ不^圖惡^棍愚^夫ノ夥^伴ニ
入^ル片^{アラ}ハ彼^等ノ怒^ヲ起^サル様^ニ其^群ヲ
脱^セヨ彼^ハ衆^多ナリ故^ニ是^ト讎^敵タルヘカラ
ス唯^中立^センヲ要^ス彼^人ト讎^敵タルサ^ルモ

其事業トハ死敵タルヘシ又萬事ヲ人ニ隱ス
ナク又萬事ヲ人ニ明カスヘカラス事ヲ隱スハ
人ノ喜ハサル所タリ事ヲ隱サ、ルハ身ヲ害ス
ル所タリ世人真ニ此中道ヲ得ル甚タ稀ナリ或
ハ隱スヘカラサル事ヲ隱シ隱スヘキヲ隱サ
、ル等汝等ニ在ツテ宜シク戒慎スヘキノ條件
タリ

儀容

徳アリ智アリ人ノ為ニ已カ欲ノ一分ヲ殺キ他
人ヲシテ亦タ吾カ為ニ其欲ノ一分ヲ殺カシメ

ントスルモノ之ヲ真ノ儀容ニ善キ人ト云フ
儀容アル人ハ一見シテ景慕ノ思ヲ起サシム才
能アルノ人實ニ景慕スヘシト雖凡人一見シテ
其才能ノ量ヲ知ル能ハス故ニ一見シテ人ノ景
慕ヲ来スモノ儀容ニアラサレハ能ハス但シ唯
進退周遷ニ善キ者ヲ儀容ニ善キ者ト稱スルヲ
得ス其儀容親シムヘク又々尊敬ヲ起スヘキ者
ニシテ儀容ニ善キ者ト云フヘシ
一時ハ温良一時ハ粗暴ナルモノアリ故ニ永以
ノ注意ニ非サレハ真ノ善儀美容ヲ知ル能ハス

然ルニ儀容ノ善惡ヲ見ルニ公法アリ人ニ答フ
ルニタゞ唯諾ノミヲ以テスルモノ差シクハ不
適當ノ答ヘヲナスモノハ失儀ノ賤夫ナリ
儀容善キ人ハ合宜ノ答辭ヲナシ首席ニ坐セス
夫人ヲ先ニシ主人ヲ次ニシ不作法ニ飲食セス
他人ノ立ツ片ニ已レ坐セス其間顔色怡々トシ
テ不快ノ色ヲナサ、ルナリ

儀容ノ宜シキヲ得ルヲ甚夕太切ニシテ亦甚夕
善クシ難キモノナリ偏屈ニ物固キト頑固ト不
行儀トハ是ヲ失儀ト云フ失儀ナレハ人ト親シ

ニ難シ物固キト頑固トハ尚ホ時アツテ用フヘ
キモ不行儀ニ至ツテハ用フヘキノ地ナシ

徳義ト學問トハ猶ホ黄金ノ如ク裏ニ實價ヲ保
テリ然レモ琢磨ヲ経サレハ大ニ其天性ノ光澤
ヲ放ツ能ハス人ノ称玩却ツテ真鍮ニ及カザル
アリ佛人ハ親睦シ易キノ儀容アルヲ以テ其瑕
疵ノ若干ヲ償フヲ得タリ

「ベ」コン君カ樂シキ形貌ハ頌状ヲ常ニ身ニ荷
フト言ハレタル如ク形貌ノ和樂ナルハ功業ノ
先驅ニシテ其行路ヲ平易ニスルノ具タリ

儀容ニ善キ人タラント欲セハ官府ノ態ヲ知り
國土ノ風俗ヲ學フヘシ「アナン」ノ國都人佛人ハ
其帝王ニ恭敬ヲ盡スモ屈拜スルコトナク跪ヒテ
其手ヲ嘗メス然ルニ英人西班牙人ハ其王ヲ屈
拜シ跪ヒテ其手ヲ嘗ムルカ如ク各國風俗相異
ナルヲ以テ其國ニ入り其國ニ住セントセハ先
ツ其風俗ヲ問フテ其國人ノ失儀陋態トスル所
ヲ避クヘシ
人賢愚トナク尊貴ノ人ヲ見テ敬禮セサルモノ
稀ナリ然ルニ達士ノ敬禮ハ自然ニ出テ、局促

ノ状ナク野夫ノ敬禮ハ倉皇恐縮ノ陋態ヲナス
傍人一見シテ其教育ノ有無ヲ知ルニ足ル一シ
但シ近今世人一般開化ニ向ヒ尊貴ノ前ニ在テ
物ニ倚テ立チ耳語シ頭ヲ搔クカ如キ人ヲ見ス
尊卑雜還ノ中ニ在ル片ハ人々自然人ノ稱賛ヲ
得ント欲スモシ人ノ稱賛ヲ欲セハ須ク其状寛
裕ナル一シ切ニ放縱ヲ戒シムヘシ人アリ汝等
ト語ルニ其言陋劣ナリ氏注意シテ聽クヘシ決
シテ之ヲ輕侮ス一カラス人ヲ輕侮スルハ禍ヲ
種ルナリ人ヲ輕侮スルヨリ起ル禍ハ人ヲ摠撲

ウチタノク

スルノ禍ヨリモ深カラシク就中婦女ニ對シテ切
ニ注意スヘシ又寂好ノ席最美ノ肉ノ如キ都テ
身勝手ニナルヘキ者ヲ撰ンテ自カラ取ルヲナ
ク宜シク譲リテ人ニ與フヘシ左スレハ他人マ
タ必ラス之ヲ汝等ニ譲ランヲ欲シ之ヲ終フル
ニ汝等謙遜ノ美名ヲ得テ其受クヘキ分ヲ失ハ
サルヘシ
先ニ各國風俗禮儀ノ異ナルニ注意スヘキヲ説
ケリ然ルニ又一國中ニモ市々村々自カラ風俗
異ナルヲ以テ已カ住スル市府村落ノ風儀ヲ學

フヘシ其風儀ヲ學フハ其地ノ名望アル者ニ倣
ヒ而シテ能ク其尊卑トノ應對如何ニ着目シ
善ヲ見ハ速カニ取テ之ニ倣ヒ一善遺ス處ナク
其惡ハ看過シテ記セサルヘシ善ク之ヲ成シ遂
クルモノハ智士ニ非サレハ能ハス又タ其人ノ
儀容風俗ヲ學フヘシ口真似手真似スヘカラス
夫レ容儀ノ温厚莊正ハ世ニ處スルノ大事ナリ
學藝ヲ以テ世ニ得ラルハ若干ノ時日ヲ要ス
ヘシ然ルニ儀容アル人ハ一見シテ人其凡ナラ
サルヲ覺フヘシ且ツ人ノ親善ヲ得ルモノ多ク

ハ容儀ニ依レリ容儀ノ人ニ功アルヲ大ニシテ
明ナル怪シムヘキモノアリ
之ヲ要スルニ世人ト親善ナランニハ禮讓儀容
ヲ欠クヘカラサルヲ恰モ尊敬ヲ得ルニ學問道
徳ヲ要スルカ如ク一般ナリ
俊秀ナル人ハ聰明戈智衆ニ擢ンツルヲ以テ一
見人ノ賢愚ヲ知ルヘシト雖氏中人ニ至ツテハ
終始業ヲ共ニスル者ノ賢愚モ尚ホ且ツ別チ難
キトス然レ氏言語容儀ノ可否善惡ヲ知ルニ至
ツテハ天下億兆ノ人異同アラス以テ知ルヘシ

言語容儀ノ世ニ處リ事ヲ為スノ道ヲ修理シテ
平滑ナラシムルニ大利アルヲ
之ヲ終フルニ言語容儀ニ疎ナル人ハ譬へ博學
宏通ト雖氏人之ヲ目シテ腐儒トナシ與ニ交通
スルヲ悦ハス又良友集會ニ不適當ニシテ就中
工職高賈ニ至ツテハ取モ不利ナリ
汝等行儀作法ヲ學フヲ勤メテ行儀作法ニ善キ
人ヲ見ハ速カニ之ニ倣ヘ然リ而メ之ニ優ルヲ
欲スヘカラス才能ト言語容儀トハ猶ホ左右ノ
手ノ如シ相離ルヘカラサルナリ離ルレハ即互

ヒニ其利ヲ失フヘシ言語容儀ハ學藝ヲ飾リ瑕
疵ヲ補フニ於テ其功大ナリ

風流ノ二十一則

第一則 樂人

人ヲシテ樂マシムルモノハ半ハ方法ニ屬シ半
ハ容貌ニ屬ス常住自己身上ヲ省察シ心ヲ他人
ノ容貌上ニ留メ且ツ良友ト遊ハ、自然温和ニ
シテ樂シキ容貌ヲ備フヘシ人ヲ樂シマシムル
ハ人世ノ要件ニシテ亦タ能シ難キモノナリ人
ノ意向ヲ見テ之ニ從フモノハ其人ヲ悦ハシム

ルノ法ニシテ千ニ一モ失ナハス我カ悦フ處ヲ
以テ他人ニ交ハレハ他人モ亦タ悦ハン吾レ他
人ノ吾カ性情嗜好ニ注意シ且ツ吾ニ礼貌アル
ヲ悦ハ、吾レ亦タ他人ノ性情嗜好ニ注意シ又
タ其人ニ礼貌アラハ其人必ラス吾ヲ悦ハン坐
席ノ形勢ニ随カツテ莊嚴ナルヘク洒落ナルヘ
ク又タ戲譎モスヘシ之レ人ヲ待スルノ法ナリ
身既ニ才能ヲ備ヘ又タ能ク省察ヲ加ヘ且ツ善
ク他人ノ諫ヲ容ル、モノハ人ヲ樂シマシムル
ノ正道ナリ

態度チカ面オモ色イロ言語コトバハ真ニ忽ニスヘカラス文雅ニシ
テ樂ヲシキ容態シヨウタイアル人清朗シヨウリョウノ聲コエヲ以テシテ容シヨウト語コト
レハ他人傾聽シヨウリョウスヘキモ不快シヨウリョウノ色イロ不整シヨウリョウノ態シヨウヲ以
テ語レハ人ヲシテ嫌惡シヨウリョウヲ起サシメン古詩ニ曰
ク「ウグニユスス女神ニョウノモ三風流ノ崇トフヘキナケレハ
真ニ美ナラスト子コルルババ學ガク問モンモ三風流ナケレハ
尊トフヘキ者少シトト三風流トハ態度
吾レ二人ヲ見ルニ其學藝ガク甲乙ナキモ其ト導ト崇ト變ト
慕シタガフニ輕重ナキ能ハス依テ其理ヲ察スルニ只一
ハ風流ニシテ一ハ風流ナラサルニ依レリ吾カ

知チカ己キノ女玉肌花顔一點ノ瑕疵ナキ者亦夕寡ナ
カラス然ルニ世人之ヲ悦ハス却ツテ顔色平凡
ノ女子ニシテ每人ノ眷戀ケンレンヲ来キタトスモノアリ以
テ古詩ノ過トタサルヲ證スヘシ又夕男子ト雖レ氏
三風流ナキモノハ實功アツテ世ニ疎マレ三風
流ヲ備フル者ハ小功モ必ラス録サレ小智モ必
ラス稱サルカ如キ吾カ常ニ目撃スル處ナリ
後章ニ於テ風流ノ真面目ヲ示シ又風流才子タ
ルヘキノ道ヲ傳フヘシ

第二則 言語

一言ノ得失曰リ終身ノ幸不幸ヲ生スルモノ許
多アリ不才無藝ノ者モ言語快暢ナレハ人争フ
テ其才藝ヲ称シ才藝アルノ士モ其言語快暢ナ
ラサレハ世人目シテ愚蠢トナシ其人中ニ藏ス
ル才藝ノ称譽ヲ受ル能ハスモシ婢娟タル一夫
人偶然手ヲ失シテ團扇ヲ地ニ墜スアランニ全
歐洲寂モ陋劣ナル野夫之ヲ拾フテ授クヘシマ
夕全歐洲寂モ風流ナル公子モ亦之ヲ拾フテ授
クヘシ其扇ヲ拾フテ授クルニ於テ公子ト野夫
ト毫末ノ異アルナシ然ルニ其授與ノ状ニ至ツ

テハ大ニ異ナルアリ故ニ公子ノ授クルニ於テ
ハ夫人必ス悦ンテ之ヲ感謝スヘク野夫ノ授ク
ルニ於テハ却テ口ヲ掩フテ笑ハシ以テ見ルヘ
シ言容ノ用法亦夕輕ニスヘカテサルヲハ
良家ノ子夕ランモノハ其容貌清秀ニシテ進退
ハ風流ナルヘシ就中衆中ニ在ツテハヨク注意
シ卑劣ノ事ヲ避ケテ長者ノ風ヲ學ヒ親シテ暱
レス清秀ニシテ虚飾ナカルヘシ男女ニ関ラズ
凡ソ人ノ情思察ニ感スルヨリモ情意ニ感スル
甚夕切ナリ情意ニ感スルモノハ視聽ノ五官ヨ

リ直入シテ骨髓ニ透入スルモノナリ故ニ人ノ
耳目ヲ悦ハシムルモノハ已ニ事ノ半途ヲ成就
スルモノナリ

第三則 遊樂

良家ノ子タラシモノハ遊樂ノ種類ヲ分別シ卑
賤ノ輩ヲ避クヘシ人ノ音樂ヲ善クスルモノヲ
見レハ之ニ一曲ヲ奏センコトヲ請フ者ハ人ノ常
ナリ世人音樂ヲ以テ遊藝ノ一トス音樂實ニ遊
藝ノ一ナリト雖氏人ノ望ニ因テ吹彈スルモノ
ハ幾分ノ風姿ヲ損スルヲ覺フ故ニ汝輩音樂ヲ

好マハ人ノ音樂ヲ聴クヘシ親自スヘカラス親
自ラ吹彈スル者ハ自然威重ヲ失ナヒ賤劣ニ流
レ易ク且ツ悪友ト交ハリヲ結フノ失アリ千金
ノ日晷ヲ無益ニ消過スルノ恐レアリ

第四則 切肉

小事注意スルニ足ラサルカ如シト雖氏世人一
般注意スル者ニ至ツテハ已レ亦之ヲ注意セサ
ルヘカラス夫ノ肉ヲ切リ方等ニ至ツテハ實ニ
小事タリ然リト雖氏日々ノ事ニシテ又世人一
般ニ注意スル事タルヲ以テ棄テ、省ミサルヲ

得ス刀ヲ扱フ拙フシテ傍人ヲ汚シ器皿ヲ覆ヘ
シ骨ヲ横截セント顔ヲ赤フスルカ如キハ人ノ
嗤笑ヲ来タスノ種タリ少シク心ヲ用ヒハ此ノ
如キ嗤笑ヲ受クルナカラニ然ルニ我レ實ニ肉
ヲ切ル能ハスト云フ者ハ已カ嚏ヲモ拭フ能ハ
サル人ナルヘシ

第五則

「チツト」燕語ト云

風流宴會ニ行ハル、語即チ「チツト」ヲ解スヘシコ
レ小事ニ似タリト雖氏宴會ニ於テ專ラ行ハル
、語タルヲ以テ知ラサルヘカラス宴會ニ屢々歐

洲ノ事務ヲ議シ各國帝王ヲ可否シ軍卒ノ強弱
ヲ論シ帝王貴族ノ親族外戚ヲ數ヘ國宴私燕ノ
華美ヲ論スルアリテ人々已カ意ヲ論シ而ノ其
語ハ「チツト」チツトヲ其間ニ交ヘサレハ趣ヲ損ス
ヘシ又夕割烹釀酒ノ方法等ヲ解スヘシ是等實
ニイラス不急ノ事タリト雖氏亦屢々燕集ニ發スルノ談
ナリ故ニ又夕心得ヘキノ事タリ

第六則 清潔

身體ヲ清潔ニ保ツヘシ而ノ尤モ手爪齒牙ニ注
意セヨ口中汚穢ナレハ齒痛ヲ起シ終ニハ腐壞

レテ己ヲ害シ又々臭氣ヲ發シテ他人ヲ侵ス汚
手穢爪ハ甚々陋劣ノ態ナリ爪尖ハ清ク滑カニ
シテ汚染セサル様注意スヘシ手指ヲ舐鼻ニ按
クハ座客ニ對シテ無禮ナリ又々毎朝注意シテ
身ヲ洗フヘシマタ漢澆ヲ拭フタル後ニ手巾ヲ
中ヲ窺ナカレ上件ノ如キ小事タリト雖凡人ノ
好惡ニ関スルカ故ニ省察ヲ加ヘサルヘカラス
又々^{ハダキ}初衣ヲ清潔ニスヘシ^{ヨダレ}初衣ノ汚垢ナルハ我
カ身ヲ害シ人目ヲ汚ス古語ニ曰ク二十歳ニシ
テ^{ブシヨウ}怠惰ナルハ四十歳ニシテ^{コサクルヒキヒト}臙濕人トナリ五十

歳ニシテ破家翁トナルト吾カ數十年來ノ經驗
ニ依ルニ曾テ誤タス

第七則 禮儀

禮儀ニ達シタル人ノ慶弔ニ用ユル語ノ尊卑ニ
差別アルヲ注意シ又々其容貌ノ歡傷聲音ノ抑
揚等ニモ注意スヘシ是ノ二事人ヲ樂マシムル
ノ要具タリ^{シテ}文雅ノ人ハ言語自カラ俗夫ト殊ニ
シテ^{シヨント}口ト氏ノ新婚ヲ賀スルト愛子ヲ失
フタルヲ弔フトニ於テ容貌言語ニ毫モ歡傷ノ
體ナク平生ニ變ラサル如キ甚々嫌ハシキモノ

ナリ同シ言葉ヲ用ユルニモ緩急抑揚アリテ慶
吊ニ適スル顔色アルヘシ

第八則 言語ノ用法

言語ニ流行アリ各士知ラサルヘカラス佛人ハ
別シテ意ヲ是處ニ留メ字義ヲ精究スルヲ以テ
其用法巧ミニシテ事物ニ於テ裨補スル所大ナ
リ言語ノ用法巧妙ナルハ其人ノ文雅ニシテ其
朋友ノ善ナルヲ表スヘシ

第九則 衣服并舞蹈

衣服モ亦夕人ヲ樂シマシムル方法ノ一ニ屬ス

故ニ亦注意スヘキノ一タリ吾人ノ性質意志
ヲ論シテ其證ヲ衣服ニ取ルコト許多ナリ但シ妄
リニ其身ヲ飾ルナカルヘシ妄リニ飾ルモノハ
腔裏ノ空虚ヲ表ハスナリ才子ハ奇異ノ衣ヲ服
セス蓋シ衣服ヲ清潔ニ保ツハ一ハ身ノ為メニ
シ一ハ世人ノ為メニスル所ナリ故ニ衣服ハ其
目標ヲ其地ノ文雅才智ノ士ニ取ルヘシ文雅才
智ノ士ニ加減スルハ非ナリ加フルモノ之ヲ遊
治郎ト云フ減スルモノ之ヲ怠慢人ト云フ少壯
者ハ減センヨリハ寧ロ加フルヲ取ルヘシ加フ

ル者ハ年長シ智加ハルニ随フテ其宜キヲ得ル
アラシ
治郎ハ身ノ値價ヲ衣服ノ上ニ任スコレ識者ノ
見テ冷笑スル處ナリ而シテ才子ハ斟酌シテ其
宜シキニ従フモノナリ世間實ニ無用ノ風俗數
千種ヲ儲ハヘタリ然レ氏之レ亦罪惡ノ業ナラ
サルカ故ニ才智ノ士其無益ヲ知ルト雖氏亦其
風俗ニ随カハサルヘカラストイハレ子バ氏無
用ノ風俗ヲ去ラントセシハ智士ト称スヘキモ
強テ世人ヲシテ已カ意ノ如クナラシメントセ

シニ至ツテハ世情ニ暗キ人ト云フヘシ
汝等治郎ト衣服ヲ競フ勿レ只避クヘキハ怪風
異様ニアリ己カ住スル國主ノ大人君子ノ称ア
ル人ニシテ衣服ヲ忽カセニセスマタ之カ為メ
ニ心思ヲ勞セス能ク其中ヲ得タル人ノ如ク衣
服スヘシ
容止粗野ナルハ心志ノ缺乏ヲ表シ毫モ衣服ニ
注意セサル者ハ漫リニ風俗流行ヲ誹毀スルノ
癖アリテ世人ノ忌嫌フ事タリ男子ノ流行ニ女
子ノカアルヤ大ナリ粗野ノ人決シテ婦女ノ称

譽ヲ受クル能ハス婦女ノ毀譽其關係大ナラサ
ルカ如シト雖氏其數ヲ數フレハ大人君子ニ百
倍ス百倍ノ口ヲ以テ嘖々毀譽スルモノ其效決
シテ小ナラサルナリ
曾テ一度晴レノ場ニ已カ風俗ノ善美ヲ得ハ爾
後再ヒ衣服ノ念崩サスシテ人世苦慮ノ一ヲ除
クヲ得シ

舞踊ハ痴事ナリト雖氏國立ノ痴事タルヲ以テ
才子モ一曲ヲ奏セサル能ハサルノ機會アリ斯
ク如キ際ニ會サハマ夕妙舞セサルヘカラス

舞踊ノ妙ハ腕臂ヲ巧運シテ胸部以上ヲ妙ニ動
カスニアリ且ツ頭首ノ回顧左右ニ於テ注意ア
ルヘシ場ヲ終ヘテ席ニ復ラハ尚ホ容貌ニ注意
シ慎ンテ自負ノ色アルヘカラス此際舉動其宜
シキラ得ルモノハ自然人ノ尊崇愛慕ヲ得ルモ
ノナリ

第十則 献盃

往時宴會ニ^{ムカシ}献酬ノ風一般ニ行ハレタリシニ世
ノ文運日ニ閑クルニ隨ツテ人ノ好惡ヲ問ハス
強ヒテ之レニ飲マシメントスルハ無益ノ儀式

タルノミナラス且ツ無禮ニシテ又々可笑事タ
ルノ論發セシ以来文雅ノ宴ニ献酬ノ風熄ミタ
リ然ルニ尚ホ此風ノ行ハル、處少シトセス故
ニ此風ノ行ハル、地ニ於テハ已レ獨リ衆ト異
ナルヘカラス

第十一則

然諾

固ク事ヲ請ケ合フ者ヲ智ナラストシテ笑フモ
ノアリト雖氏吾ハ之レヲ不智ト云ハス事ヲ議
シ確乎動カサルモノハ時宜ニヨリ其功大ナル
アリ然シ其然諾ノ功ヲ奏スルノ後ニ非サレハ

吾レ其才智アルヲ許サ、ルナリ然ルニ彼ノ每
事狐疑スル者ニ至ツテハ每事必ラ不成功ナカ
ラン又々毎事思慮ナク口ニ任カセテ然諾スル
モノハ良友ト遊ハサルノ兆ニシテ良友モ亦タ
其人ヲ友トスルヲ好マス沈重ニシテ潔ク然諾
スルモノハ必ラス事ヲ遂クヘキナリ然ルニ果
敢ニシテ恥ヲ知ラサルノ徒ノ無益ノ事ヲ喧シ
ク請合フモノ、有様ハ恰カモ鳶鴉ノ斃レタル
牛馬ニ集リ囁ムト同シク甚々見苦シキモノナ
リ

第十二則 忽卒

才智ノ士ノ事ヲ為スヤ敏捷ナリ決シテ忽卒ナルヲナシ忽卒ナルモノハ事ヲ成ス必ラス拙劣ナラン才智ノ士ハ敏捷ニシテ精巧ナルヘキノ方法ヲ求メ不戈ノ人ハ己カカニ餘ル事ヲ見レハ便ハチ匆忙東奔西走手且ヲ措ク處ヲ知ラス終日徒ラニ神ヲ勞シ身ヲ疲ラシテ終ヒニ分毫ノ事モ為ス能ハス戈智ノ士ハ先ツ時ニ寂モ要用ナル物ヨリ手ヲ下シ其業ヲ執ル敏捷ニシテ着手順序アリ空シク仕事ヲ耽ニテ手ヲ拱ヌク

ノ時ナク執業ノ際他顧セス全ク業ヲ終ヘテ後次業ニ遷ル

第十三則 笑

常ニ高笑ヲナスモノハ愚ニシテ習儀ナキモノナリ彼ノ賤夫ノ群ヲナスヤ必ラス無用ヲ談シ屢々高笑シテ快ト称ス壁ヲ隔テ、聴クヘキ高笑ヲナスハ寂モ陋態ナリ真個戈智ノ士ハ人ヲ樂シマシムルニ人ヲ笑ハズ人ヲシテ笑ヲ發セシメス彼ノ高笑ヲ起スヘキハ賤シキ顛話ニアラサレハ必ラス痴事ニアリ戈智ノ士ハ更ラニ數

バカゲタコト

層ノ高地ヲ占メテ共ニ伍セサルナリ後ヘニ椅
子アルヘキト想像シテ空處ニ腰ヲ掛ケントシ
テ仰倒テ臀骨ヲ痛ムルカ如キハ實ニ人ヲシテ
高笑セシムヘキノ事タリ世間文智ノ士決シテ
之ヲ笑ハサルヘシ以テ見ルヘシ高笑ノ卑賤無
禮ナルヲ其卑賤無禮ナルハ喧囂カ為メナラス
其容貌ノ卑ナルニアリ
談話ノ際奇態ヲナシテ頻リニ笑フモノアリ是
レ不行儀ヨリ起ルモノナリ資質善良ノ人ニシ
テ平常ノ話シニ常ニ笑ヲ帶フルモノアリ其親

友ニアラサルヨリ外ハ一見シテ痴漢トナスヘ
シ

第十四則 尺牘

尺牘ハ營業慶弔共ニ用ヒサルヘカラサルモノ
ニシテ實ニ日用ノ最モ欠クヘカラサルモノタ
リ故ニ人々尺牘ニ巧ミナランテ寂モ要件タリ
文體假名扱ニ誤リナカルヘシ別シテ婦女ハ此
處ニ注意ヲ要ス「シセロ」ノ尺牘ハ千古尺牘ノ模
範タリ之ヲ要スルニ尺牘ノ主意ハ讀ミテ解シ
易ク事理明白ニシテ恰カモ面談スルカ如クニ

シテ迂曲ノ語ナカルヘシ
書箋ノ折リ方封シ様當テ名ニ氣ヲ付ケテ粗畧
ノ事ナカルヘシ一封ノ書ニ依テ他人ノ好惡ヲ
生シ轉シテ身ノ利害ニ及ホスモノナリ

第十五則 渾名

始メテ父母ヲ離レテ世間ニ出ツルノ年少輩常
ニ人ノ笑具トナランコトヲ恐ル人ノ笑具タルヘ
キハ實ニ恐ルヘシ若シ人ノ笑具タラシテ恐レ
ハ宜シク務メテ身ノ笑具トナルヘキ事ヲ去ル
ヘシ身ニ笑具ヲ備フレハ正直ニシテ賤シマレ

他ノ美事ヲシテ掩ハレテ顯ハレサラシム良友
内ノ渾名ハ常ニ風俗言語容貌ニ在リテ害ナシ
モシ含怒失儀賤劣痴呆等ノ渾名ヲ得ハ身ヲ害
スル甚タレカラシ故ニ是等ノ渾名ヲ避ケハ其
餘ノ渾名ニ於テハ毫モ恐ルナカルヘシ

第十六則 字音并談話

言葉遣ノ正良ナラシテ欲セハ朋友ニ請フテ已
カ誦讀ヲ聽カシメ音聲ノ抑揚遲速字句ノ明暗
句讀ノ善惡ヲ改正セシメ或ヒハ自カラ高ク讀
ミ自カラ聽ヒテ其惡シキヲ改ムヘシ讀書ニモ

談話ニモ一語々々ニ齒ヲ閉キテ發音明亮ナル
ヘシ語ノ明亮ナルハ語尾ノ字ヲ朗清ニ響カシ
ムルニ在リ亦タ事物ニ應シテ語勢ヲ緩急ニス
ルノ法ヲ學フヘシ兵卒ニ号令スルト婦女ト語
ルトハ自カラ差別アルヘシ常ニ注意セハ數月
ヲ出テスシテ適當ノ抑揚緩急ヲ自得シテ恰
カモ天性ノ如クナラン
言葉ノ遣ヒ方聲ノ高低モ亦タ忽ニスヘカラス
甲人ハ口ヲ閉チ其言含糊聴キ分キ難ク乙人ハ
騷然急話ナルヲ以テ亦タ解シ難ク甲人ハソノ聲夫
サハカシクハヤコト

ト談スルカ如ク乙人ハ低聲ニシテ故ノ如キ皆
之ヲ失儀ト云フ人ノ好マサル所ナリ已カ儀容
ニ注意セサルハ賤夫ノ證タリ汝輩今吾カ説キ
タル數件ヲ小事トシテ忽カセニスルナカレ
吾目撃スル所ヲ以テ見ルニ才藝ニ富ムノ士モ
是等ノ數事ヲ欠クカ為メニ世人ノ待遇善ナラ
ス才藝ナキモノモ是等ノ數事ヲ備フルニ因テ
世ノ待遇善ナルモノ多シ

第十七則 假音

正シク假音ヲ唱フヘキハ頭官名士ノ要件タリ

曾テ誤音ヲ唱ヘタルヲ以テ終身ノ笑具トナル
アリ注意シテ讀書セハ假音ノ誤リ少ナキヲ致
スヘシ書ニ記載スル字音ハ概シテ正シキモノ
ナリ儘々記者ニヨリ一二ノ假音異ナルモノア
リト雖氏甚タ稀ナルヲ以テ孰レニ因ルモ害ナ
シ唯萬人同音ノ字ヲ獨リ異様ノ音ヲ發セハ嗤
笑ヲ免レス若シ深窓ノ處女情郎ノ艶書ヲ得タ
ルニ其假音不正アラハ必ラス腹ヲ捧ヘテ眉ヲ
顰ムヘシ

第十八則 言語文書

言語文書ハ心ノ表衣ナリ故ニ此二者亦タ善良
ナラサルヘカラス此二者ノ善惡ニ隨ツテ世人
ノ待遇ニ善惡ヲ生シ終ニ身ノ利害ニ關スルニ
至ラン良善ノ人ニシテ言語文書ヲ善クセサレ
ハ猶ホ雪白身軀ヲ纏フニ襪褸ヲ以テスルカ如
シ世人人ヲ可否スル全ク言語文書ニ依ラスト
雖氏耳ヲ用ヒテ可否スル際ニ當ツテハ言語文
書ノ關係小ニアラサル著明カラシ
文ヲ綴リ事ヲ談スル常ニ其方法ニ注意シテ良
正文雅ノ法ヲ集メタトヘ一家ノ内奴意ナキ文

書言語モ其法ヲ擇ンテ用フヘシ事ヲ語ツテ用
語ノ宜シキヲ得サル者アラハ之ヲ心ニ記シテ
良語ヲ得ン_トヲ務ムヘシ

第十九則 書字

既ニ目アリ右手アルモノノ學習セハ何流何法ノ
字モ書キ得ヘシ彼ノ文字ノ拙キハ其人物ヲ賤
シ_フスルモノナリ但シ學校教師ノ書ノ如ク勁
硬ナル書方ヲ要セス只運筆ノ自在ニシテ風流
ナルヘク又々兼テ疾速ナルヲ要ス真ノ能筆ナ
ルモノハ又々文章ニモ巧ニナルヘシ文章ニ巧

ミナラント欲セハ文典ニ熟シ名文ヲ誦讀スル
ニアリ真ノ名文ト称スヘキモノハ新奇ノ文字
ナク文章平坦ニシテ解シ易ク恰モ面語スルカ
如キモノヲ云フ

第二十則 陋言

言葉遣ヒノ賤陋ナルハ悪友ト遊ヒ風儀善カラ
サルニ生ス陳腐_{グサ}キ語、俚諺_{イヤシキコト}ヲ話スモノハ賤夫ノ
招牌_カナリ譬ヘハ人心ノ同シカラサル_トヲ云フ
ニ甲ノ肉ハ乙ノ毒ト云フ古諺ヲ用ヒ又醜美虐
慈等ノ語ヲ用ユレハ常ニ極醜極美大虐大慈ナ

ル語ヲ用ヒテ其實ニ當ラス真ニ是等ノ字義ニ
適フモノハ禽獸ニ非サレハ其正意ヲ得ス已カ
心ニ謝セサルコトヲ謝シ己カ足未タ曾テ踏マサ
ル處ニ行クノ癖アリ又夕風流ノ語ヲ用ヒント
テガクモシアル文學夫人ノ語ヲイヤシキイナカヒト陋劣野夫ノ語中ニ雜ヘテ語
ルアリ文雅ノ士ハ俚諺野語ヲ用ヒス極大等ノ
如キ語ヲ妄リニ用ヒス已レノ了解シ難キ事ヲ
語ラス能ク注意シテ良正ニシテ解シ易キノ語
ヲ用ヒ文法ニ照シテ語音ニ訛謬ナク渾テ良友
集會ニ用ユル語法ニ隨フテ話スモノナリ

第二十一則

奇風

音樂ヲ聽ヒテ其調子ニ合セテヒキコ低聲ニ唱ヘモダヒコ指鼓
ヲタ鼓タキ脚ツ尖サキヲ舉ケト葵トノ床ヲ打ツテ他人ノ舞
樂ニ調子ヲ合スルカ如キ陋風ハ滿座ノ賤ミヲ
受クヘシ慎シムヘキ事ナリ
飲食ニ甚夕遲速アルモ亦夕陋習ナリ甚速ナル
モノハ其性ノ忽卒ヲ表シアラハ他人ノ招宴ニ甚夕遲
ク食フモノハ其調理ノ口ニ適ハサルマヲ疑カ
ハシメ客ヲ招ヒテ甚夕遲ク食フ片ハ己カ好マ
サルモノヲ客ニ與ヘントスルヲ疑カハル又羨

ヲ啜ルニ鼻ヲ以テスルヲ勿レ西國、羨ヲ以テ中ニ
ヲ捧ケテ羨ヲ啜ルモノ、四ヲ以テ面ヲ掩ヒ肉ヲ肉
恰カモ鼻ヲ以テ羨ヲ啜ルカ、若シ故ニ云フ又ニ串ヌキ口中ニ入レントシテ先ツ嗅クヘカ
ラス血中ニ嗜マサル香ヒアラハ手ヲ觸レサル
ヘシ忘レテモ鼻ヲ附テ嗅キ且ツ上下表裡等ヲ
点檢スルヲナカレ斯クスルモノハ毒物ヲ與ヘ
ントスル企ヲ以テ主人ヲ罪スルノ恐レアリ
床上又ハ櫃上ニ食物ヲ噴キ出スヲナカレ斯ク
ノ如キ人ハ富庶ノ景況ヲ知ラス貧賤ニ生長シ
テ雅席ニ慣レサルモノナリ故ニ纒ワツカニ教ヘア

ル者ハ斯ノ如キ行ヒヲナサスヘキヲ、又書ニ
街頭ニ在ツテ急走スルナカレ街頭ニ急走スル
モノハ擔夫車丁ノ事ニシテ富貴風流ノ人ニ適
セス
偶然人ニ邂逅シテ其面ヲ熟視スルモ亦々陋習
ナリ人ノ面ヲ熟視スルモノハ其人ノ面貌奇怪
ナルカ為メニ然ルヲ疑ハル、ノ恐レアリ
都テ奇怪ノ風俗ヲ避ケテ身體ヲ安舒ニ保ツヘ
シ彼ノ癢キヲ搔キ手ヲ口耳鼻等ニ措キ舌頭ヲ
出シ指ヲ啗カミ爪ヲ齧カミ手ヲ摩ニスリ高聲ニ欠アクヒシ身カラ

軀ヲ蠢動シ物ヲ注視ル等亦夕慎ムヘキノ件々
タリ又賤夫ノ陋習ヲ學ヒ良士ノ疵瑕ヲ真似ス
ルナカレ

通世情

年少ノ時ニ於テ知識ヲ博クメテヲ務ムヘシ
少時ニ儲フル知識ハ久長ノ日月ヲ要セスレテ
後日其用ヲ作ス至ツテ洪大ナリ
世情ニ通達スルノ知識ハ只世間ノ中ニ於テ得
ヘシ螢窓雪案上ニ得ヘカラス然レモ世情ヲ説
キ交法ヲ示教スルノ要件ヲ得ヘキモノ只書ニ

在リ故ニ書ノ載記スル所ヲ以テ目前ノ事物ト
相對照推究セハ其正的ヲ失ナハサルヘシ
人情ヲ解シ世態ヲ知ラント欲セハ聰明ヲ用ヒ
見聞ノ事物ヲ推知シ且ツ書ヲ讀ムテ之ヲ參觀
セサルヘカラス彼ノ大國ニ生レ大都ニ住シ齡
ヒ強壯ヲ過キテ尚ホ世情ヲ解スル二十年前黃
口兒タリシ時ト些異ナキモノアリコレ疎懶ノ
罪ナリ又夕流行ノ言ヲ解スルヲ以テ世情ニ達
シタルモノト誤解スルモノアリ夫レ人ヲ見ハ
其皮ヲ見テ骨ニ至ルヘシ人ト語ラハ其性情嗜

好華飾行作顔色等ニ注意シ且ツ其人ニ隨ヒ其
人ノ善惡智愚情欲ヲ導ヒテ善道ニ歸セシメ世
間有用ノ人物トナシ造物者ヲ裨補スルヲ心
掛クヘシ
下愚ノ人モ必ス時アツテ用フヘシ然ルニ其愚
ナルヲ侮リテ一面之ヲ愚弄セハ終ヒニ已カ用
ヲ為サ、ルナリタトヘ暴虐ヲ受ケテ能ク之ヲ
怒スルモノアルモ愚弄ヲ被フリテ能ク之ヲ怒ス
ルモノアラジ終身ノ仇讎ヲ作ルヲ欲セスンハ
慎ンテ人ヲ愚弄スルナカルヘシ人痴呆ノ名ヲ

受クルヲ忌ム罪惡ノ名ヲ受クルヨリモ甚タシ
故ニ汝輩モシ他事ニ託シテ人ノ昏愚無學ヲ誚
ラハ明ラカニ對シテ其光棍タルヲ罵シルヨリ
モ怒怒却ツテ深カラシ
知識學問位階財貨等ヲ以テ人ニ驕誇スルヲ務
ムルモノハ人ヲ凌辱スルノ甚シキモノナリ智
識學問ヲ以テ人ニ誇ルモノハ陋習惡性ヲ顯ハ
シ位階財貨ヲ以テ人ニ驕ルモノハ不正不直ナ
リ夫レ位階財貨ハ人カニ依ラス焉クンゾ以テ
人ノ賢愚ヲ決スヘケンヤ善教良性ノ人ハ他人

ウマレソダチヨキ

ヲ賤シメス只他人ヲ称譽スルヲ務ムルヲ以テ
自然仇讎ナクシテ親友多カルヘシ常ニ人ヲ樂
シマシメント心掛ルモノハ終ヒ二人ヲ樂マシ
ムルノ法ヲ得ヘシ既ニ人ヲ樂セシムルヲ得
レハ人ノ親愛欽慕ヲ得ル必ラス大ナリ人ノ作
為^ガ交親ノ為メニスルモノ許多アリ其事ヲシテ
詐謀偽計ナク善性良教ヨリ自然ニ發シ中心實
ニ人ノ親善ヲ欲スルモノナラシメハ是ヲ正良
ノ業ト云ヒ称譽スヘキノ事ニシテ他人之ヲ感
謝シ^{ヲホヘ}記念シテ必ラス又善ヲ以テ之ニ報ヒント

スヘシ婦人ハ別シテ是等ノ諸件ニ心ヲ用ユヘ
シ婦人ニシテ是等ノ諸件ヲ善セサル者ハ其惡
風ヲ故ト人前ニ顯ハスモノナリ
坐客ノ樂ミヲ添ヘント欲シ或ヒハ己カ戈智ヲ
誇ラント人ノ瑕疵ヲ索ムルモノアリ別シテ年
少輩ニ此念劇^シシキモノナリ注意スヘシ斯ク人
ヲ愚弄スルモノハ徒ラニ永久解クヘカラサル
ノ仇讎ヲ生シ且ツ其他ノ人モ其瑕疵ヲ索メ出
サレシヲ恐レテ其人ヲ賤惡スルノ念ヲ生ス
ヘシ人ノ美ヲ揚ケ醜ヲ掩フ者之ヲ善者ト云フ

汝輩才アラハ其才ヲ用ヒテ人ヲ樂シマシメヨ
人ヲ害スルニ用ユルナカレ斯ク其才ヲ善用ス
ルモノハ其名ヲ光輝ラシテ愛スヘカラシムル
恰カモ正帶ノ太陽ト均シカラシ
人ニ^{ツキアフ}遇シ人ト交ハルニ欠クヘカラサル良法許
多アリ宜シク少時ニ及ニテ學フヘシ此法ヲ學
フモノハ人ト親睦シ易クシテ自カラ身ヲ立ツ
ルノ易カラシ然ルニ年少ノ時ハ精神活動ナル
ヲ以テ概子法則ヲ以テ迂遠無益ノ者ト^{ニルカヒ}忽ニ
テ顧リシス然ルニ歲月ヲ經テ世間ノ情實モ^累

及會得シタル時ニ於テ初メテ處世ノ法ヲ學フ
ノ肝要ニシテ欠クヘカラサルヲ^{サトル}覺悟ト雖^氏既
ニ晚キヲ悔ユルモノ多シ此法ノ^{ツモ}綱領ハ情欲ヲ
抑制シ心志ヲ靜安ニシ容貌ヲ溫和ニスルノ三
ツニ在リ喜怒ノ言語容貌行作ニ見ハレ易キモ
ノハ沈着^ト戈士ノ利スル所タリ惡言ヲ聞ヒテ忿
怒ヲ顔色ニ抑フル能ハス好事ニ遭フテ喜ンテ
耐ヘサルカ如キ者ハ猾者ノ餌ニ誘ハレ易シ彼
ノ猾者ハ故意惡言ヲ以テ人ヲ怒ラシメ其忿怒
ノ際不^ト留心發スル言語ヨリ^{トクナ}端緒ヲ得テ其意ヲ

探ラントスルモノナリ故ニ此人如キ時ニ會
ハ宜シク心ココロ関カヲ固シカト鎖サシテシテ其カギ鑰カギヲ人ニ委カヌル
ナカレ好事ヨキコトヲ以テ来ルモノモ亦夕概シテ然リ
喜怒俄カニ内ニ發スルアラハ宜シク其念ヲ解
キ去リテ後ニ事ヲ理スヘシモシ俄カニ解ク能
ハサレ時ハ只黙シテ止ムヘシ
之ヲ要スルニ善ク其心意容貌ヲ制シテ恣シ縱シナ
ラシメス内心ニ發スル喜怒ヲ毫ヒモ他人ノ耳目
ニ觸レサラシムヘシ是レ實ニ難事タリ然リト
雖氏決シテ能ハサレノ事ニアラス才智ノ士固

ヨリ能ハサレノ事ヲ為サスト雖氏毫モ難事ニ
畏縮セズ難事ハ正サニ才智ノ士ヲシテ益々勤
勉努力ノ氣ヲ興サシメ終ヒニ其功ヲ遂ケルヲ
誤マタス汝輩ニ利益ニシテ廉正ノ業ナラハ事
ノ難易ヲ問ハズ為シテ疑カハサルヘシ其事ノ
難キカ為メニ退縮スルコトアルヘカラスモシ其
事ニ一二回ノ決ハ敗ハアルモ能ク忍ンテ久キニ耐
ユル者ハ終ヒニ其成功ヲ得ルニ疑ヒアラズ或
ヒハ驕慢ニヨリ或ハ苦ヲ難カルニヨリ半途ニ
シテ廢スルモノアリ斯クノ如キモノハ事ヲ遂

クル稀ナリ怠ラス倦マス良法ニ從ヒ常ニ不足
ヲ補フコトヲ志サハ世間萬事為ス能ハサルノ事
ナカラシ又々時ヲ善用セシコトヲ要ス各人必テ
ス碎片ノ好時アルヘシト雖モ亦終日ノ好時ハ
得難カラシ凡ソ事ヲ為スニ心常ニ目前作為ノ
上ニアラシコトヲ要ス事ヲ為シ心天外ニ飛シテ
目前ニ在ラス或ヒハ悲愁忿怒以テ心ヲ擾ルル
ハ事ヲ為ス都テ善美ヲ得ヘカラス
精細ニ查點スレハ稍異ナル所アリト雖モ凡人ノ
性皆ナ大同小異甚タ相遠サカルモノナシ故ニ

他人ノ意志ヲ知ラシト要サハ須ラク自己ノ意
志ヲ省^カミ吾カ好悪スルハ又他人ノ好悪スル所
ナルヲ察スヘシ能ク自己ノ心志性情ノ根源功
用ヲ探^{モト}討テ其真ヲ得ルハ世人ノ心志性情ヲ知
ルノ捷徑ナリ若シ人學問才能位階賤貨ヲ以テ
吾人ニ誇リ吾人ヲ輕ンセハ吾人甚タ不快ナラ
シ故ニ吾人人ノ親睦仰慕ヲ得シト欲セハ慎シ
テ驕誇ナルハカラスモシマタ人アリ忤^ヒ意ノ隱
語ヲ遣々若シクハ惡ムヘキ諂媚ヲナシ若シク
ハ好シテ上ヲ侵シ下ヲ虐スルモノアラハ吾人

之レヲ怒ラシ故ニ人ノ親善ヲ得ント欲セハ是
等ノ事ヲ以テ他人ニ接スヘカラス汝等天下億
兆ノ人民ト相親善シ相和樂ナラント是吾カ日
夜汝輩ニ望ム所ナリ才辨ヲ誇示セント欲スル
ヨリ仇讎ヲ醸スモノ尤衆シ汝輩誇示ノ念内ニ
發スルアラハ須ラク先ツ自個身上ニ省察シテ
他人ノ忿恨ヲ想像シ且ツ将来ノ得失ヲ思念ス
ヘシ左スレハ自然誇示セントスルハ忘念忽チ
熄レテ迹ヲ絶ツヘシ一言一句ノ嘲侮ニ依ツテ
朋友ヲ失ナヒ仇讎ヲ醸ス者豈之ヲ才子辨者ト

云フヘケンヤ以上已レ人ニ誇示セントスルノ
利害ヲ論ス然ルニ人アリ吾人ニ對シテ誇示シ
嘲侮ノ語ヲ出し吾人忿怒ノ念起ルアルモ吾人
ノ事ニ関カラス吾人ノ念頭ニ分毫モ感覺ナキ
態ヲ做スヘシモシ又嘲侮明白ニシテ知ラサル
ヲ推スヘカラサル時ト雖氏忿怒ヲ發セス却ツ
テ其隱語詼譎ヲ佳語善話ト称賛シテ和樂ノ色
ヲ以テ席ヲ終フルヘシ決シテ之ニ答フルニ亦
隱語詼譎ヲ以テスルナカレモシ之ニ答フルニ
隱語詼譎ヲ以テスレハ吾レニ忿怒ノ念アルヲ

証シ小事ヲ争フ鄙夫トシテ聲名ヲ損シ性質ニ
疵ツクルアラシ寛仁大度ノ君子トナリ一朝ノ
怒リニ其身ヲ忘ル、ノ愚夫トナルモ唯此毫釐
ノ差ヨリ生セン慎マサルヘケンヤ
故意明々地ニ凌辱スルモノアラハ拳ヲ揮ツテ
打倒シテ可ナリモシタ、隱害ヲ吾人ニ加フル
者ハ之ニ報ユルニ禮讓ヲ以テスヘシ之レ不信
詐偽ノ業ニアラス但シ已レ利スル所アルカ為
メニ枉テ外貌ニ禮ヲ施シ好意ヲ得ントシテ善
意ヲ狹マサルモノ之ヲ詐偽ト云フ吾カ實ニ嫌

悪スル所ナリ禮讓ノ類百般ナリト雖凡其標的
トスル所ハ私シノ嫉妬忿怒ニヨツテ人民ノ交
情ヲ害シ世ノ靜謐ヲ妨タケジトスルニ過キス
諱シク争論シテ顧慮ナキ者ハ女子ト小人ナリ
吾人道義ヲ知ルノ士暴容ヲ遇スル他人ヲ過ス
ルヨリモ更ラニ禮讓ヲ厚フスヘシカクスルト
キハ曩ニ吾人ヲ嘲侮シタルモノモ再ニ嘲侮セ
ス却ツテ親好ヲ得ルアラン又々吾人ト争競セ
ントスルモノ皆曰ハン彼人實ニ長者タリ吾等
曩時ノ所作實ニ羞愧スヘシト而シテ吾人寛洪

ノ称彌後愈大ナラン
之ヲ要スルニ以上數百言一言ノ箴規以テ之ヲ
盡スヘシ箴規ニ曰ク怒氣ヲ面ニ出スナカレト
汝輩須ラク注意スヘシ古來怒氣ヲ以テ事ヲ十
分ニ遂ケタル者未タ其例ヲ見ス我カカノ及フ
能ハサル所ニ於テハ只和順ナルヘシ夫レ耳目
ニ觸ル、事ニ於テ毫末ノ堪忍ナク怒マ、ニ忿
怒ヲ用ユル者ナラハ世ニ人類ヲ絶ツニ至ラン
自己ノ性情ヲ制取スル能ハサル者ハ當サニ世
ヲ棄テ、千里無人沙漠ノ中ニ單獨庵ヲ結シテ

生ヲ送ルヘシ無益ノ頑怒ハ唯身ヲ害スヘク決
テ人ヲ害スル能ハハ汝ヲ怒ラシメ其怒リニ乘
シテ汝ニ害ヲ加ヘント欲シ故ニ無礼ヲ加フル
モノアリ然ルニ汝却ツテ礼仪ヲ以テ之ヲ遇セ
ハ其計謀行ハレサルヲ以テ再ヒ無礼ヲ加フル
ナカラシム而シテ其人ノ惡ハ却ツテ暴露セン且
ツ辨ヲ好ムト片意地ナルト怒リ易キトノ三ツ
ハ寂モ賤陋小器ナルノ明徴ナリ
人身ノ結構總テ同一ナルモ其配合却ツテ各殊
ナルヲ以テ個々ニ比ル片ハ宇宙大ナリト雖氏

人民億兆ナリト雖^{コルデ}氏絶テ渾然相同シキ者ナシ
之ヲ一人ノ上ニ於テ驗ミルニ亦常ニ相同シキ
能ハス智士痴事ヲ為スアリ豪者ニ陋行アリ徳
行ノ人ニモ惡事アリ惡人ニモ善事ヲ行フアリ
故ニ善モ常ニ善ヲ期スヘカラス惡モ常ニ惡ナ
ラサルヲ察シ人ノ性質ヲ論スルニ只目撃ノ數
事ノミヲ以テスヘカラス須ラク善ク其他情欲
容貌ノ上ニモ視察ヲ加フヘシ
世間ノ名望アル人ト争フナカルヘシ名望アル
人ト争フ片ハ嫉妬早劣ノ者ト謂ルヘシ又々善

人ナルヲ以テ心ヲ傾ケテ己カ生命禍福聲名ヲ
以テ全ク之ニ委任スルナカルヘシ善人ト雖^氏
勢力福利聲名ノ際争競ノ心ナキヲ必スヘカラ
ス勢力福利聲名ノ三者ニ於テハ善良ノ人モ屢
々善良ナル能ハサルモノアリ故ニ此三者ヲ以
テ人ヲ見レハ大失ナカルヘシ而シテ其人ニ委
任スヘキノ量ヲ得ル亦難カラズ故ニ依テ禍害
ヲ免ル、ノ事アルヘシ
男女ヲ論セス親善人ノ所長ヲ知り願望ヲ知ラ
ントヲ務ムヘシ各人必ラス一種ノ誇耀ヲ有ツ

モノナリ既ニ其所長願望ノ二者ヲ知ルヲ得ハ
其所長ヲ称シ其願望ヲハ更ラニ大譽スヘシ各
人各別ノ希望アリ^{凡テ}所長ノ称譽ヲ受ケハ只忻然
タリト雖氏其願望ノ称譽ヲ得レハ其喜ニ更ラ
ニ大ナランタトヘハ^リ「^{チュ}ル」ハ古時佛國ノ賢
相タリシニ賢相ノ称譽ヲ欲セス却ツテ詩賦ノ
称譽ヲ願望シ當時有名ノ詩人^コル子イ^ラ妒ミ
テ其著作ニ瑕疵ヲ負ハセントセリ夫レ治國ノ
戈ハ^リ「^{チュ}ル」自カラ信スル所ニシテ賢相ノ称
譽ハ自信ノ称譽ナリ而シテ詩賦ニ至ツテハ自

カラ其巧妙ナルヲ信セス故ニ詩賦ノ称譽ヲ希
望スル却ツテ切ナリ故ニ自然喜悦ニ輕重ナキ
能ハス^ハ「^{チュ}ル」
平生ノ談話ニ依テ察セハ其驕誇スル所ヲ知ル
ニ難カラス人概シテ其得意ヲ談スルヲ好ムモ
ノナリ故ニ其驕誇ノ所ヲ得ハ其人ノ親交ヲ得
ル至易ナラン
婦人ノ驕誇スル所只色ニアリ故ニ其美ヲ称ス
レハ其心悦シテ措ク能ハサルモノナリ天ノ婦
人ヲ生スルヤ必ラス称譽ニ足ルヘキモノヲ備

フ故ニ面貌ナキハ態度アリ面貌態度共ニナキ
モノハ教育ヲ智ヲ以テ其不足ヲ補フニ足ルヘ
キヲ自信スルヲ以テ婦人ニ自負ノ念ナキモノ
アラズ絶世ノ醜女モ決シテ自棄セス必ラス衣
服ニ心ヲ用ヒ流行ヲ逐フヲ以テ上論ヲ證スハ
シ國色無雙ナルモノハ人ノ稱譽ヲ得テ喜夕悦
コハス其稱譽ハ自信ノ稱譽ニシテ他人ノ稱譽
一毫モ其美ヲ添フル能ハス却ツテ他人ノ舌頭
心裏ノ相及センヲ慮ヘハ自負ノ義ト解スル
上ニ説ク稱譽ノ義ヲ誤ツテ諂諛ノ義ト解スル

ナカレ人ノ賤行悪業ヲ稱譽スル是ヲ諂諛ト云
フ賤行悪業ハ當サニ惡シテ之ヲ攻ムヘシ然リ
ト雖氏他人ノ過失自負ハ怒セサルヘカラズ互
ヒニ他人ノ過失自負ヲ怒セサレハ世ニ生息ス
ルノ人ヲ絶セン故ニ男子ノ戈ヲ負ミ婦人ノ美
ニ誇ルモノアルモ實ニ才子美人ナラハ世人ニ
害ナクシテ自カラ喜フノ過失ナリ吾人宜シク
其過失ヲ恕シテ共ニ親善ナルヘシ其過失ヲ責
メテ無益ニ仇ヲ生スルヲナカレ
一道ノ他道ニ超絶スルヲ囂^{ウマヒス}シク論シ或ハ特ニ

一道ニ長スル人ニ親暱ナル者ハ大略詐偽ノ人
ナリ心ヲ容スヘカラス然レモ一概ニ詐偽ノ人
トノミ看做スヘカラス夫ノ僧侶ノ實ニ信心ナ
ル誇騷人ノ實ニ豪雄ナル改革ヲ謀ル人ノ實ニ
正直ナル方正ニ過ル女子ノ實ニ貞操ナル者世
間亦タ許多アリ故ニ汝輩須ラク密ニ是等ノ人
ノ内情ヲ察スヘシ世人ノ口頭ニ其真偽ヲ取ル
ヘカラス世人ノ口頭ニ人ヲ取ルモノハ其外ヲ
得テ多クハ其内ヲ得ル能ハサルナリ
一面識ノ人ニシテ好言愉色突然来リテ親善ナ

ラントスルモノハ大畧酒食ヲ貪ラント来ルモ
ノナリ但シ斯ク来ル者ヲ無下ニ排絶スヘカラス
此類ノ人ニ愚直ナルアリ姦詐ナルアリ察セ
サルヘカラス狡者ト愚夫トハ屢其外顔相近似
スル者アリ愚直ノモノヲ容ルハ害ナク姦詐
ノ者ハ陽ニ容レテ巧ニ其計謀ヲ挫クヘシ
尋常ノ談ニ強ク擔ヲ立テ証ヲ示スモノハ虚誕
ニシテ隱ニ利スル所アラントスルモノナリ否
ラサレハ彼レ何ヲ苦ンテ斯ク無益ノ事ニ信ヲ
取ント努カスヘケンヤ

遊子ノ交誼ハ久シカラステ失親ヲ生シ時常
福害ヲ起スモノナリ少年被酒遊樂ノ際活氣猛
烈加之世情ニ慣レサルニ依リ容易ク断金ノ交
ハリヲ結ヒ襟ヲ披キ心情ヲ吐露シテ遺ス所ナ
レ斯ク容易ク合フノ交リハ堅固ナラスシテ其
交誼ハ惡事ノ交誼トナルニ至ル少年ノ群ニア
ラハ須ラク己カ藝能ヲ藏スヘシ又慶賀饗應ノ
席等都テ少年ニ適スル遊樂ノ場ニ於テ人ニ勝
ラサル様心裁クヘシ好辞ヲ以テ人ヲ樂シマシ
メテ己カ衷情ヲ秘スヘシ人情ニ通スル丁巳レ

ニ勝サリ交ハリヲ結フ久シクシテ其真情ヲ知
リ且ツ其職業已レト異ニシテ相関涉セス相争
競セサルノ友ナラハ心ヲ明ケテ談ヘシ人ノ義
勇ヲ過信シテ同職業ヲ競フ人ヲ親友トシテ諱
憚スル所ナク心胸ヲ傾ケテ語ルヘカラス
做不知ト世情ニ通スルノ要件タリタトヘハ人
某事ヲ汝輩ニ問フアランニ已レ熟知ノ事ト雖
氏他人ノ害トナルヘキ事ノ如キハ知ラストシ
テ風波ナク事ヲ終フルカ如キニ至ツテハ做不
知トヲ用フヘキノ妙處ナリ然ルニ調子ヲ合せ

巧ニニ談ラントテ人ノ禍害ヲ顧ミズシテ語り
又ハ己カ明察ヲ以テ發覺シタルヲ誇ラントシ
テ人ノ短ヲ語り又ハ席ノ形勢ニ應スルト應セ
サルトニ関セス人ノ長短ヲ談シテ一座ノ喝采
ヲ得以テ衆ニ誇耀セントスル者世間ニ多シ汝
輩慎ンテ人ノ^{カシ}隱微ヲ談セス已レ預知セシ^トモ
他人ノ談ヲ聞テ始メテ聞クカ如クナルヘシ人
ノ談ヲ聞キ已レ既ニ其事ヲ知リタルヲ説ク片
ハ他人失望スルモノナリ百千^モ回^メ耳^ニ挾ニテ^コ熟
知^ル^トモ他人ノ恥辱誹謗ニ関スル^トハ断金ノ

友ニア^ラサレハ知ラサル風^ヲシテ聞キ過コスヘ
シ人ノ惡事ヲ悦ンテ聞カハ誹謗サレタル黨與
ノ怨疾ヲ受ケン故ニ此種ノ談ヲ聞カハ中心ニ
信スル^トモ外貌ニ疑ヒテ示シ常ニ人ノ後ニ處
ラ^ント^ク要ス又^タ做^ル不知^スモノハ自然萬事ヲ知
ルノ道タリ人ノ性皆自負ナキ能ハス故ニ些細
ノ事ト雖ヒ人ノ知ラサル^トヲ談シテ己カ方ノ
優サレルヲ示サントスルノ癖アリ又ハ己カ知
ラサル^トモ知^ルタ風^ヲシテ話サントスルノ癖アリ
故ニ做不知ハ事物ヲ知ルノ最良法ナリ且ツ又

做不知ハ人汝輩ヲ詭謀ナキ者ト思ヒ隨カツテ
又夕氣ノ利キカサル者ト想フヘシ又夕事ヲ問ハ
ントセハ其更ヲ直チニ問フヘカラス直チニ問
ヘハ人將サニカ隱諱スル所アラシク屢々問ヘハ人
ヲ倦マシム但シ或ハ身ノ要件ヲ問ヒ或ハ先ツ
聞知スルヲ以テ問ヲ起シ次第ニ己カ意ヲ加
ヘテ問ヒ其人ノ吾カ為ニ謀ルノ忠不忠ヲ驗ム
ヘシ而シテ成ル丈ケ其事ヲ直チニ問フナカ
レハ人ノ教育ノ難ク其功効ヲ測ルハ難シク
人ノ天賦ノ性皆相同シト雖モ其功用ヲナスニ

至ツテハ教育慣習ニ因テ著シク差タカヒヲ生ス故
ニ各人ノ意志ヲ知ラント欲セハ須ラク先ツ其
衣服ヲ見ルヘシレキ縉紳兵卒僧侶ト雖モ其聲譽ヲ
欲スルノ情ニ至ツテハ一ナリ然レモ其教育慣
習同シカラサルヲ以テ其情願ヲ遂クルノ法モ
隨ツテ又夕同シカラス禮讓ヲ以テ人ヲ和ラケ
人ヲ悦ハシムヘキハ各地咸ナ相同シキモ禮讓
ノ法ニ至ツテハ各地皆ナ異ナリ故ニ文智ノ士
ハ己カ住スル國土ノ禮讓ヲ學フ其地ノ風俗ヲ
學フハ世ヲ渡ルノ要件ナリ然レモ其間能ク注

意シテ惡風俗ヲ學フヘカラス時ト世ニ隨フノ
才智ハ才智中ノ最モ要用ナル戈智ナリ此クノ
如キ才智ヲ備フレハ其事ノ可否ヲ見テ遷ルコ
ヲ得ヘシ故ニ深黙ノ人ト與ニシテハ重厚ナル
ヘク華美ノ人ト居テハ快濶ナルヘク賤夫ヲ遇
スルハ小事ヲ以テスヘシ
他人ノ風俗慣習又々其自負スル所ヲ悅コシテ
且ツ共ニスルモノハ他人ノ意ヲ悅コハシムル
大ナリ寒熱性儉奢、重厚、浮華、禮讓、粗簡、文學、滑稽、
遊樂、勉業、ニ於テ偏頗スル所ナク時ニ隨ツテ已

カ欲スル所ヲ為ス恰カモ帽子ノ冠トリアツシ脱ニ於ケル
カ如ク容易ナラシコトヲ要ス
年少ノ時皆精神勇銳ナルヲ以テ世間万事唯一
意傾倒、百折千挫其志ヲ屈セサルハ遂ニ目途ヲ
成就スルノ法ナリ彼ノ言語ノ法、容貌ノ則ヲ學
フモノハ賤夫ノ事タリ機ヲ察テ變ニ應シ婉容
ナルハ怯夫ノ本色ナリト唱フ斯ク甚タシキ誤
說ヲ懷クヲ以テ其性急ニシテ風俗粗野ナルヲ
致ス愚夫ハ迷ヲ解ク能ハスシテ終身此誤說ヲ
墨守シ智士ハ實驗ノ後其不可ヲ知ツテ速カニ

其頑野ヲ去リ臨機婉容ヲ取用シ未タ日時ヲ經
サルニ其利ヲルヲ悟ルヘシ世事十ノ八九ハ人
ノ好意ヲ得ルニ非サレハ功ヲ成ス能ハス故ニ
世間ノ談話十二八九ハ人ノ好意ヲ得ントスル
ノ談話ナルヘシ然ルニ人各自負ノ氣アルヲ以
テ人ノ好意ヲ得ントセハ温順、和樂、親暱、ヲ以テ
セサルヘカラサルヲ會得スヘシ
酩酊客ノ十分嚴肅ナルヲ自信スルカ如ク年少
輩已カ戈智ヲ自信スルモノハ大ニナル不幸ナ
リ年少輩活氣ヲ尚トヒ顧慮ナク事ヲナスヲ以

テ練熟ニ勝サルノ業ト想フモノアリ是レ既ニ
事ヲ半ハ敗レルモノナリ夫レ少年ニシテ老成
ノ熟練ナキモノハ危ク老練ニシテ活氣ナキモ
ノハ弱シ活氣ト練熟ヲ兼備スルモノヲ全成人
ト云フ世ニ全成人ヲ得ル實ニ稀レナリ然レ凡
汝輩全成人タラント欲セハ亦タ難カラズ我レ
吾カ平生ノ得ル所ヲ以テ汝輩ニ告ケン而シテ
汝輩ノ活氣ノ一分ヲモ吾ニ報フルヲ望マサル
ナリ老練活氣ノ二者ヲ兼用シテ相互ヒニ勢力
ヲ得セシメ相互ヒニ制セシムヘシ吾カ上ニ説

ク少年活氣トハ精神快暢ニシテ自カラ恃ム所
アリ事ノ難キヲ見テ退縮避屈セサル者ヲ云ヒ
世俗ノ所謂^{イハユ}ル鉄面狼心貪^レ賤妒能好^ニテ喧嘩ス
ル如キ者ヲ云ハサルナリ斯クノ如キ氣ヲ愚惡
ノ氣ト云フ宜シク鋤キ去ツテ豕豚ヲ肥スヘシ
寂後ニ告クヘキハ意氣ノ相合フカ為メニ新友
ヲ悦ヒ舊友ヲ棄ツヘカラス新友モ悦フヘク舊
友ハ棄ツヘカラス舊友ヲ棄ツルモノハ己カ聲
價ヲ損シ且ツ其人ノ怨怒ヲ致タサシ又夕朋友
ヲ増シ仇讎ヲ減セシテヲ務ムヘシ然レ氏此ノ

朋友ヲ以テ断金ノ友ト見ルナカレ断金ノ友ハ
多キモ終身五六輩ヲ得ルニ過キサレヘシ吾カ
此處ニ論スル朋友トハ彼亦夕利スル所アルヲ
以テ汝輩ノ幸福ヲ願ヒ福害ヲ欲セス萬事ヲ談
スルニ圭^{カドバ}角ナク渾然和氣ヲ以テ相應答スヘキ
者ヲ云フ断金ノ友ハ實ニ欲スヘク又實ニ得難
シ

Handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page. The characters are faint and difficult to decipher.

48-13807

010190528397



